

# JIS

自動車部品－  
内燃機関用オイルフィルタ－第3部：  
複合材フィルタハウジングの試験方法

JIS D 1611-3 : 2017

(JAPIA/JSA)

平成 29 年 9 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	榎 徹 雄	東京都市大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	飯 田 美 昭	一般社団法人日本自動車連盟
	石 田 道 昭	日本自動車輸入組合
	江 坂 行 弘	国土交通省自動車局
	大 石 裕 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 朋 昭 裕	トヨタ自動車株式会社 (一般社団法人日本自動車工業会)
	尾 崎 晴 男	東洋大学
	木 戸 彰 彦	一般財団法人日本自動車研究所
	坂 本 一 朗	独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所
	関 口 清 則	一般社団法人日本自動車部品工業会
	永 嶋 功	公益社団法人全日本トラック協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 29.9.20

官 報 公 示：平成 29.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本自動車部品工業会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-16-15 自動車部品会館 TEL 03-3445-4215)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：自動車技術専門委員会 (委員長 榎 徹雄)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 定義及び記号	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 記号	2
4 試験項目	2
5 耐圧試験	2
5.1 一般	2
5.2 試験装置	2
5.3 試験油	3
5.4 準備及び試験手順	3
5.5 記録	4
6 インパルス耐久試験	4
6.1 一般	4
6.2 試験装置	4
6.3 試験油	6
6.4 試験温度	6
6.5 精度	6
6.6 準備及び試験手順	7
6.7 受渡当事者間で合意がない場合に試験に用いる数値	7
6.8 記録	7
7 振動試験	8
7.1 一般	8
7.2 試験装置	8
7.3 試験油	8
7.4 事前調整	8
7.5 準備及び試験手順	9
7.6 記録	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	20

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本自動車部品工業会 (JAPIA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS D 1611** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS D 1611-1** 第 1 部：一般試験方法

**JIS D 1611-2** 第 2 部：全流式オイルフィルタの粒子カウント法によるろ過効率試験方法及びコンタミナント捕そく（捉）容量試験方法

**JIS D 1611-3** 第 3 部：複合材フィルタハウジングの試験方法

# 自動車部品—内燃機関用オイルフィルター—

## 第 3 部：複合材フィルタハウジングの試験方法

Automotive parts—Lubricating oil filters for internal combustion engines—  
Part 3: Tests for composite filter housings

### 序文

この規格は、2013 年に第 1 版として発行された ISO 4548-13、2016 年に第 1 版として発行された ISO 4548-14 及び 2014 年に第 1 版として発行された ISO 4548-15 を基とし、日本工業規格としての利便性を図るため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、内燃機関用全流式、バイパス式及びコンビネーション式の複合材で構成するオイルフィルタハウジングの試験方法について規定する。

この規格の試験方法は、全ての種類のオイルフィルタ、例えば、スピノン形、交換エレメント脱着形のオイルフィルタに適用できる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 4548-13:2013**, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines  
—Part 13: Static burst pressure test for composite filter housings

**ISO 4548-14:2016**, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines  
—Part 14: Cold start simulation and hydraulic pulse durability for composite filter housings

**ISO 4548-15:2014**, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines  
—Part 15: Vibration fatigue test for composite filter housings (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0125-1** 油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第 1 部：図記号

**注記** 対応国際規格：ISO 1219-1:2006, Fluid power systems and components—Graphic symbols and circuit diagrams—Part 1: Graphic symbols for conventional use and data-processing applications (MOD)